

大阪城 魅力創造のために

～市民・府民の文化創造拠点とし、
国際的な集客の場に～

2013年11月

大阪城サマーフェスティバル実行委員会

目 次

1. はじめに	2
西の丸共同ステージ	2
課題	3
2. 提 言		
(1) 西の丸庭園に“石垣ステージ”の常設化	4
(2) 高麗門ルート of 復活と時間規制の緩和	6
(3) 電源設備の増強	8
(4) 大手門前広場の活用	9
(5) 来場者への安全確保のため「迎賓館」の使用条件緩和	10
(6) 排水設備、トイレの整備	11
(7) 大阪城公園の街路灯照度アップと誘導サインの充実	12
《提言事項の位置図》	13
《提言の作成》 ワーキンググループメンバー	14
《参考》 大阪城サマーフェスティバル実行委員会	15

1. はじめに

大阪城天守閣の入場者は年間約150万人。天守閣や巨大な石垣、堀の美しさは、中国、韓国をはじめ、海外からも多くの来場者を惹きつけ、USJ、海遊館に次ぐ市内第3位の集客施設となっている。

大阪城サマーフェスティバル実行委員会は、これまで8年間にわたり大阪城の魅力発信・賑わい創出・観光集客促進を目指して様々な社会実験や取り組みを行ってきた。これまで大阪城サマーフェスティバル期間内の集客実績は、2007年に167万人のピークを迎えた。読売テレビ主催の「わくわく宝島」、毎日放送の「オーサカキング」というビッグイベントが終了した2009年には一時的に47万人まで集客数が落ち込んだものの、その後の継続した活動が奏功し、2010年から70万人を超える規模を保ってきた。

大阪城サマーフェスティバル 集客実績

2006年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
98万人	167万人	130万人	47万人	71万人	77万人	71万人	72万人

(※1)

(※2)

(※3)

(※1) YTV「わくわく宝島」終了

(※2) MBS「オーサカ・キング」終了

(※3) 「レッドブル・エクسفайターズ 大阪 2013」開催により、西の丸ステージ設置できず

西の丸共同ステージ

2009年より、壮大な天守閣を背景としたステージを西の丸庭園に設置し、コンサートや舞台芸術の主催者がステージを共同で利用する、という枠組みの社会実験を開始した。2010年には、「城灯りの景」、「アノインテッド・マス・クワイヤー」、NHKの公開録画などを行い、わずか一週間に6万人の集客を達成した。

このステージでタクトを振った関西フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者 藤岡幸夫氏は、「日本広しといえども、ライトアップされた天守閣を背景にコンサートができるステージは、ここをおいて他にはない」と絶賛。「胸を張って世界に誇れる場所だ。大阪は、どうしてもっと有効活用しないのか」というご指摘をいただき、この社会実験を通して、大阪城の情報発信拠点として西の丸に共同ステージを設置することが極めて有意義である、との思いを強くした。



西の丸ステージで指揮する藤岡幸夫氏

奇しくも、2012年2月に社団法人 関西経済同友会 歴史・文化振興委員会（鳥井 信吾 委員長）より、エディンバラの視察を踏まえ、エディンバラ城の「ミリタリー・タトゥー」をモデルとした「(仮称)OSAKA・フェスティバル」構想が提案され市民による文化創造拠点として大阪城を活用することの重要性が指摘された。

人口48万人のエディンバラ市が、古城を活かした文化イベントを展開することにより、わずか2ヶ月間の「エディンバラフェスティバル」の期間中、400万人の集客に成功している。大阪の活性化のためにはモトクロスレースの誘致もよいが、やはり大阪城のような歴史的資産や伝統行事など、地域のポテンシャルを活かした文化的な取り組みが不可欠である。

課 題

しかし、大阪城公園は大阪市が管理運営する施設のため、例えば民間事業者が西の丸庭園を利用しようとするすると様々な障壁がある。設備面や利用時間の規制が厳しく、結果として使い勝手が悪く、利用者に多大なコスト負担を求められる。2010年10月に西の丸庭園で開催された歌舞伎「平成中村座」を主催した関西テレビによれば、興業ということで当初4000万円の使用料を求められ、さらに公演後には芝生の養生に1000万円を超える費用を要した。

さらに西の丸庭園までのアクセスに関しても、タクシーの乗り入れが禁止されているため、歌舞伎観劇に着物でお越しになったお客様は悪天時には履物がドロドロになる始末。人力車を用意するなど更なるコストプッシュの要因となった。大手門から西の丸庭園までのアクセスの長さや、夜間のうす暗い照明は、とても高齢者に優しい公園とは言えない。こうしたことは民間事業者が利用する上での阻害要因となっている。

また、屋外のイベントであることから、夏場の雷雨など、天候急変によるリスクも対応が不可欠である。安全に配慮した運営はもちろんのこと、安全な避難場所の確保は重要な課題である。民放が主催する場合、屋外イベントにおいて安全な避難場所が確保されていることが必須であり、どんなに魅力的な西の丸庭園であっても今のままでは事業を行うことはできないとのことである。

現在2014～15年に「大坂の陣400年」を開催する計画を府市統合本部が進めている。パークマネジメント方式でイベント参加者の募集が行われているが、こうした課題がクリアされなければ参加する事業者は極めて少なくなると思われる。

本書は、「大坂の陣400年」の成功を願い、8年間にわたり大阪城サマーフェスティバルを運営してきた経験を踏まえて、大阪城が2016年以降も市民の文化創造拠点として、さらに国際的な観光集客スポットとして賑わいを創出するために提言を行うものである。

2. 提言

(1) 西の丸庭園に“石垣ステージ”の常設化

- | | |
|------------|--|
| 目的 | <ul style="list-style-type: none">●西の丸ステージの有効活用、市民に開かれた“石垣ステージ”<ul style="list-style-type: none">・「大坂の陣400年」に向けて、西の丸庭園にステージを常設設置し、期間中の公式プログラムイベント/連携イベント双方で常設ステージの有効活用を行う。(次頁：イメージ①)・「大坂の陣400年」期間後も、当該ステージは、市民が活用したり、若きアーティストの登竜門の舞台としても有効活用を図る。 |
| 形状(仕様) | <ul style="list-style-type: none">●盛り土による石垣ステージとし、城の景観とのバランスを図る<ul style="list-style-type: none">・ステージ規模：18m×10.8m×1.5m
フェスティバルホールと同程度のものとする。・舞台仕上げはコンクリート金コテ押え(イベントに応じて各種変更が可能)、法面は石垣積。(スタイロフォーム等、安価・軽量の素材で充填可能) <p style="text-align: center;">*代替案：コスト的に上記基本案の実施が難しい際は、法面に植栽を施した盛り土によるステージ(次頁：イメージ②)とし周囲の環境と調和したものとする。</p> |
| 理由
メリット | <ul style="list-style-type: none">●ステージ設置費用の削減<ul style="list-style-type: none">・ステージの常設化により、ステージ利用者/団体は、イベント実施時にステージ設置(3,000千円 2012年西の丸ステージ事業実績ベース)を削減することができる。 |
| 設置時期 | <ul style="list-style-type: none">●「レッドブル」施設撤去時<ul style="list-style-type: none">・2014年にも開催が予定されている「レッドブル」施設の撤去時に、そこで使用された土砂等も用いて造成すれば、施設コストも削減できる。 |

【ステージのイメージ】



イメージ① 石垣ステージ



イメージ② (代替案) 緑化エステージ

(2) 高麗門ルートの復活と時間規制の緩和

目的

●通行者の利便性の向上と安全確保

- ・西の丸庭園、迎賓館前へのアクセスなど高齢者にも優しいアプローチを確保し、身体に障害を持たれている方にも配慮した公園とする。
- ・西の丸庭園へ資材搬入の別ルートを確認することにより、既設ルートの通行車両数を減らし、歩行者の安全性を高める。
- ・緊急時/非常時の緊急避難経路としても活用できる。

メリット

- ・高齢者や車いす利用者の利便性が高まる。
- ・高麗門ルート使用により時間規制が緩和でき、規制時間内での関係車両通行に必要な警備を外し、警備員費用(150千円)を削減する。
- ・高麗門ルートから資材を搬入することにより、搬入経路が短縮される。
- ・公園利用者の安全を確保できる。

工事仕様

●高麗門の改修（高麗門ルートの構成要素）

- ・現在規制されている門扉を開閉可能にし、階段上に取り外し可能なスロープを設け、車両が通行できるようにする。

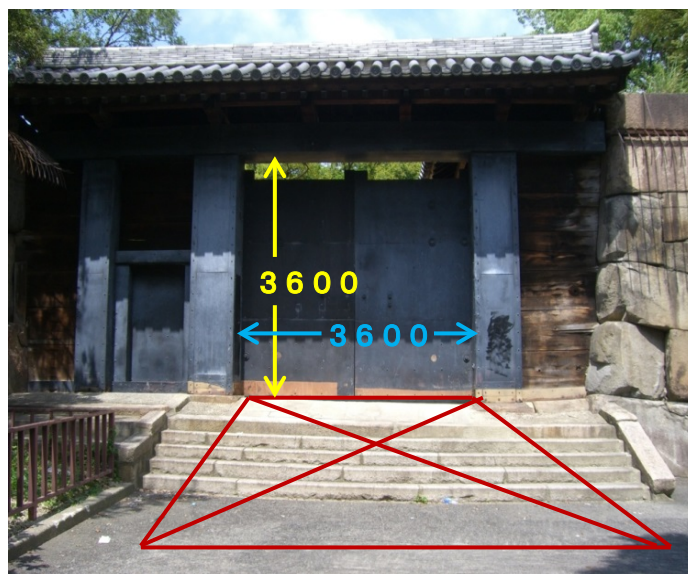


【高麗門の工事仕様】

（スロープの設置）



高麗門外側 側面



高麗門外側 正面



高麗門内側

(3) 電源設備の増強

目的 ●必要な電気容量の確保

ステージ利用にあたり、必要な電気容量を確保し、発電機を持込まなくてもイベントを開催できるようにする。

理由 ●将来にわたって必要な電気容量の確保

- ・西の丸庭園の電気容量は現在およそ70kw。イベントの音響・照明設備としては不十分であり、現行はイベントの都度、大型発電機を搬入して不足電力を供給。ステージコストの大きな上昇要因となっている。
- ・西の丸庭園をイベントスペースとして活用するならば、最低限120kwの電気容量が必要。
- ・幹線ケーブルが老朽化しており、漏電防止のためにも更新すべき。
- ・舞台、ミキサー、照明棟周辺に分電盤を設置する。これにより会場内のケーブル敷設距離は減少し、ケーブル発熱による芝生の損傷を防ぐことができる。また花見などのライトアップにも活用できる。
- ・上記により、各種イベントコストの削減につながる。

効果 ●コスト削減とイベント環境の向上

- ・2012年の大阪城サマーフェスティバルでは、発電機を11日間使用し、それに要したコストは
発電機関係 570,000円（リース料：203,000、設置・配線工事：367,000）
電気料金 50,000円
- ・上記コストの内、570,000円の支出が節約でき、電気メーターで算出の電気料金だけの支出となる。
- ・発電機による排気ガスや騒音もなく、快適なイベント環境を提供できる。

必要な容量 ●余裕を持った電気容量を

- ・ステージを安定的に運営するに足る最低容量 115kw

照明用	70kw
音響用	30kw
その他（テント電源、蛍光灯等）	15kw

（既設の容量は 60～70kw）

(4) 大手門前広場の活用

- 目的** ●エディンバラフェスティバルのように、歴史遺産を活用した大阪城の魅力発信を行い、賑わい創出、観光集客につなげる
- 理由**
- ・2012年夏、関西・大阪21世紀協会は、大手門前をイベントスペースとして活用する社会実験として西の丸ステージの前夜祭に、「オープニング・ガラ」を開催。長いスロープを活かしたステージは、大阪城をPRする絶好の舞台であることが確認された。
 - ・観客席を設け、有料イベントを一定期間開催することにより、事業者が採算のあったイベントを行うことができる。
 - ・エディンバラフェスティバル「ミリタリー・タトゥー」のように、大阪の歴史文化を活かしたコンテンツを提供し、広く海外からの集客を目指す。
 - ・スタンド型の観覧席を設けることで客席の視線が高くなり、大手門の背後に天守閣の景観が望める。
- 内容** ●観覧席の設置許可と通行規制
- ・緑地にかかる部分に観覧席（1,000名収容の規模）設置の許可を希望する。
 - ・催しの開催中、大手門から広場に至る橋部分の通行規制を可能にする。
この間、西の丸～高麗門～京橋口のルートを代替えとして活用する。



2012年の「オープニング・ガラ」から

(5) 来場者への安全確保のため「迎賓館」の使用条件緩和

- | | |
|-----|--|
| 目 的 | <ul style="list-style-type: none">●来場者の安全確保
催し開催中の豪雨、雷など、天候異変の際、来場者の緊急避場所を確保する●楽屋としての使い勝手の向上 |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●現場判断で使用<ul style="list-style-type: none">・緊急時の避難場所として、現場判断で使用を可能とする・主催者による、催し中止命令の徹底●一定期間、楽屋としての使用許可を求む。 |
| 理 由 | <ul style="list-style-type: none">●ゲリラ豪雨と雷の経験から<ul style="list-style-type: none">・2011年8月、大阪市内に1時間当たり70ミリの雨量のゲリラ豪雨と雷が発生。この時、西の丸庭園では大阪市主催のイベントが行われていたが、主催者による催し中止の判断、来場者に対する避難誘導がなされず、西の丸ステージ運営スタッフが、急遽、緊急避難、誘導にあたった。
幸い大事には至らなかったが、主催者の判断のミスから、設営中のテントへ誘導するのが精一杯だった。・催し開催中の天候急変や落雷の際、現状では来場者の安全な避難場所がなく、迎賓館の緊急利用が叶えばより安全な避難場所となる。・民放では、観客の避難場所が確保できない場所では屋外イベントの開催ができなくなっており、このままでは民放の西の丸庭園の利用が望めない。●現場の経験から<ul style="list-style-type: none">・現状では仮設テントを楽屋として使用しており、クーラーも効かず著名なアーティストにそのような場所を楽屋として提供することは不適切である。
特に公演期間が長びくようなイベントこそ、こうした柔軟な対応が不可欠。 |

(6) 排水設備、トイレの整備

- 目 的** ●イベントを開催しやすい環境を整備
必要な給排水（主に排水設備）を充実することでサービス向上をはかる。
また、トイレの増設により仮設トイレ設置コストを削減する。
- 内 容** ●既設設備の整備、排水設備の増設
- ・西の丸庭園の芝生下の排水管を整備し、飲食を伴う催しにも対応できる排水設備を設ける。これにより、例えば西の丸庭園で「オクトーバーフェスト」（ドイツビールの祭り）の開催も可能となる。
 - ・冠木門周辺のトイレの増設。
- 理 由**
- ・飲食を伴うイベントでは油分を含む排水が出ることから、西の丸庭園内の雨水側溝へは排水できず、開催できる催しが制限されている。上記の排水設備の整備によって、催しの範囲が広がり、この場所の価値が向上する。
 - ・各種の催しで主催者側が行う仮設トイレの設置機会が減少し、コスト削減につながる。

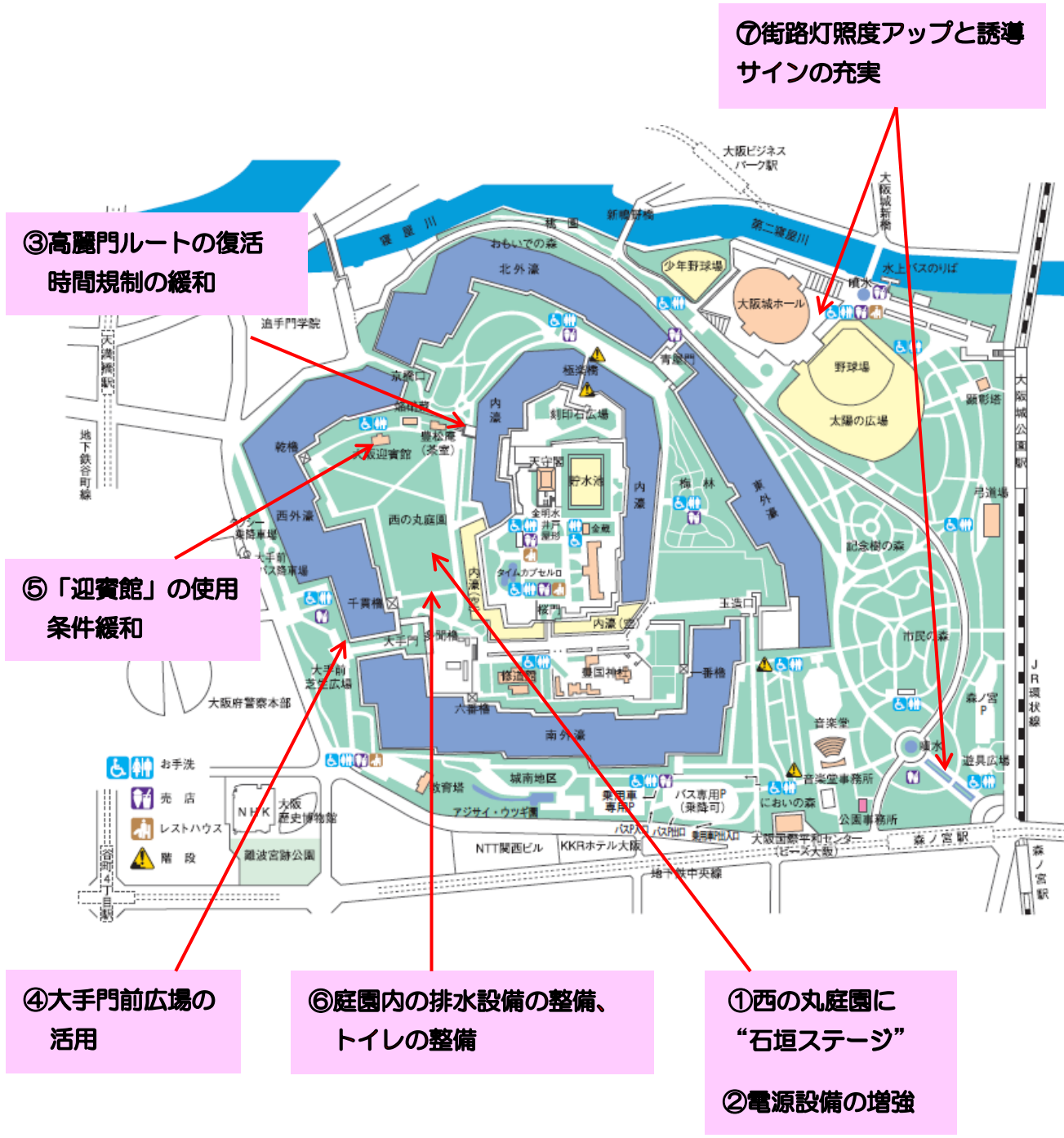
【参考】読売新聞主催「第 29 回大阪城薪能」の場合（当日 1 日のみ）

仮設トイレ設置台数	10 台 (32,000 円/台)	
仮設手洗い設置台数	2 台 (32,000 円/台)	
設置費用（トイレ）	320,000 円	
（手洗い）	64,000	
（運搬費）	152,000	
（諸経費）	60,000	計 596,000 円

(7) 大阪城公園の街路灯照度アップと誘導サインの充実

- | | |
|-----|---|
| 目 的 | <ul style="list-style-type: none">●大阪城公園駅、森之宮駅から大手門までの歩道の照度アップ●外国人観光客にもわかりやすい誘導サインの設置 |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●公園利用者が夜間でも安心して通行できるよう、街路灯のルクスを上げる。●日本語・英語・中国語・韓国語、4か国語での誘導サインの充実。 |
| 理 由 | <ul style="list-style-type: none">・現行の大阪城公園駅、森ノ宮駅から天守閣への遊歩道は街路灯が暗く、外国人観光客がライトアップに輝く天守閣を頼りに散策しようにも遊歩道も暗く、サインも少ない。・ホテルニューオータニの利用客からは大阪城公園の誘導サインが少なく、フロントへの問い合わせが絶えないという。国際的な集客都市を目指すならば、日本語の他にも、最低限英語・中国語・韓国語の看板を充実すべきである。 |

《提言事項の位置図》



③高麗門ルートの復活
時間規制の緩和

⑤「迎賓館」の使用
条件緩和

④大手門前広場の
活用

⑥庭園内の排水設備の整備、
トイレの整備

⑦街路灯照度アップと誘導
サインの充実

①西の丸庭園に
“石垣ステージ”
②電源設備の増強

《提言の作成》

「大阪城 魅力創造のために」作成 ワーキンググループメンバー

吉田 豊	大阪商工会議所	地域振興部長
當麻 佳成	毎日放送	エグゼクティブ
清家 快和	NHK大阪放送局	事業部副部長
明瀬 充夫	MIDプロパティマネジメント	取締役社長
長谷部匡彦	同	主事
伊東 雄三	関西・大阪 21 世紀協会	アドバイザー
大西 豊彦	同	アドバイザー

【オブザーバー】

岡田 美穂	関西テレビ放送	事業局事業部チーフプロデューサー
-------	---------	------------------

【事務局】

佐々木洋三	関西・大阪 21 世紀協会	専務理事
加藤 祐嗣	同	エグゼクティブマネージャー
杉田 龍哉	同	チーフプロデューサー
樋口 京	同	チーフプロデューサー

《参 考》

大阪城サマーフェスティバル実行委員会

委員長	関西・大阪 21 世紀協会 理事長	堀井 良殷
副委員長	大阪商工会議所 常務理事	西田 賢治
副委員長	株式会社毎日放送 最高顧問	山本 雅弘
副委員長	NHK大阪放送局 副局長	國友 充範
副委員長	MIDアパティマ社株式会社 取締役社長	明瀬 充夫
副委員長	大阪府府民文化部都市魅力創造局長	大下 達哉
副委員長	大阪市経済戦略局 まち魅力担当部長	井上 泰明
委員	シアターBRAVA! 総支配人	宇野 幹雄
委員	株式会社大阪城ホール事業部長	西村 武仁
委員	住友生命社会福祉文化財団いずみホール副支配人	水畑 孝之
委員	大阪ビジネスパーク開発協議会事務局長	小山 光彦
委員	大阪観光コンベンション協会 国内担当部長	内海 修治
委員	株式会社ニューオータニ 営業推進統括支配人	高木 裕徳
委員	大阪水上バス株式会社 営業部次長	大江 幸路
委員	学校法人追手門学院 教育部教育支援課審議役	宮本 幸治
委員	大阪市博物館協会 大阪城天守閣総務課長	松葉 純
委員	大阪労働協会 クレオ大阪東副館長	照山 秀人
委員	大阪国際平和センター 常務理事	岡田 重信
委員	大阪市立大阪城音楽堂 大阪市音楽団	辻 浩二
委員	山本能楽堂 理事長	山本 章弘
委員	大槻能楽堂 事務局長	長辻 利博
監事	大阪商工会議所 地域振興部長	吉田 豊
監事	大阪水上バス株式会社 相談役	山田 一信

【問合せ先】

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

佐々木洋三、 加藤祐嗣、 杉田龍哉、 樋口京

06 (6942) 2004

06 (6942) 5945 <FAX>